

活線ボルトクリッパ600A 取扱説明書

■ はじめに

「活線ボルトクリッパ600A」をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。この取扱説明書は「活線ボルトクリッパ600A」を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されています。お読みになった後は「活線ボルトクリッパ600A」をご使用される方がいつでもお読みになれる様に保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高い切迫した状況が想定される内容を示しております。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

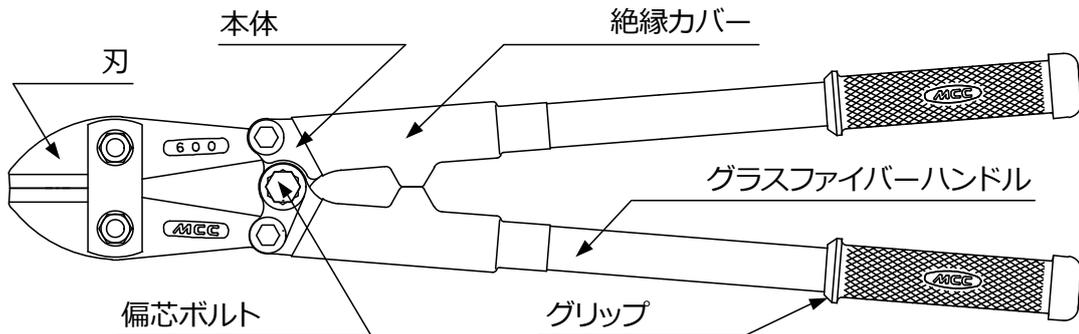
■ 使用目的

ACSR線、硬鋼線、軟鋼線等を切断するための切断工具であり、両手で持って使用します。

■ 仕様

品番	使用電圧	全長	質量
ZBC-600A	7000V以下	621mm	2.1kg
切断対象材			CAP
軟鋼線材	硬度 80HRB以下 (引張強さ490N/mm ²)		φ10
	硬度 20HRC以下 (引張強さ735N/mm ²)		φ9
屋外用ビニル絶縁電線	銅導体	100mm ²	
6600V屋外用ポリエチレン絶縁電線			
6600V屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線			
屋外用鋼心アルミ導体ビニル絶縁電線	アルミ導体	120mm ²	
6600V屋外用鋼心アルミ導体ポリエチレン絶縁電線			
6600V屋外用鋼心アルミ導体架橋ポリエチレン絶縁電線			

■ 各部の名称



■ 安全上の注意

⚠ 危険

- ① ご使用の前に必ず本書をよくお読み頂き、使い方を十分理解して下さい。
- ② 本書記載の使用目的、仕様の範囲を逸脱した使用は工具が破損する等、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ③ 工具は常に点検し、磨耗・損傷等のある場合には使用しないで下さい。
- ④ 工具の改造は絶対にしないで下さい。
- ⑤ 修理の知識や技能のない方が修理されると工具本来の性能を発揮しないだけでなく、思わぬ事故につながる恐れがあります。(修理はお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付け下さい。)
- ⑥ 活線の切断は素手では行わないで下さい。感電事故につながります。
- ⑦ 活線作業を行う時は必ず保護具を着用して下さい。

※労働安全衛生規則に基づく感電防止対策をお取りになってから、切断作業を行って下さい。

⚠ 警告

- ① 電気工事士資格をもたない人は絶対に活線作業はしないで下さい。
- ② 刃先での切断は絶対にしないで下さい。端材が飛散しやすくなります。また、工具が破損する恐れがあります。
- ③ 切断作業時は端材が飛散したり、切り口で負傷する恐れがありますので、保護メガネ・保護手袋などの保護具を必ずご使用下さい。
- ④ 作業時には飛散した端材が他の人に当たらない様に十分注意を払って下さい。
- ⑤ 工具や材料を落下させないで下さい。工具の破損、又は機能に支障が発生するばかりかケガの恐れがあり、大変危険です。
- ⑥ 作業場は常にきれいに保って下さい。床面の油や障害物で体勢を崩すと思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ⑦ ハンドル部が汚れたり、金属粉が付着したりすると耐電圧性能が低下しますので、常にきれいに保って下さい。
- ⑧ グラスファイバーと本体との結合部にガタが生じると抜ける恐れがありますので使用しないで下さい。
- ⑨ 握り部（グリップ）を手で廻してまわる状態となれば接着効果がなくなっていますので抜ける恐れがありますので使用しないで下さい。

⚠ 注意

- ① 本書記載の切断対象材以外の切断には使用しないで下さい。
- ② 切断時、材料は刃元部分に直角に当てがって下さい。
- ③ 軽快に使用して頂くために「動く部分」には時々注油をして下さい。

■ 操作方法

□ 作業の前に

整理・整頓がされた安定した場所を確保し、正しい服装を心掛けて下さい。

□ 切断作業の基本操作手順

- ① ハンドルを十分に開いて材料を刃元部分に当てがって下さい。
※切断対象材に対してボルトクリップが直角となるようにして下さい。
- ② 両手でハンドルを閉じる力を加えることにより材料の切断が出来ます。

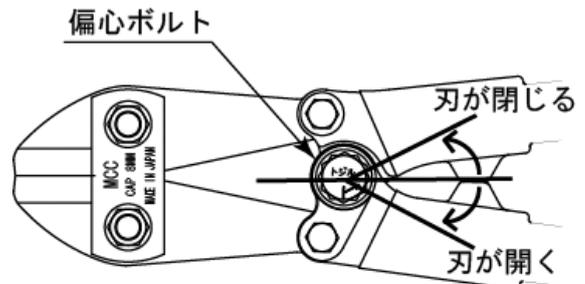
□ 日常の点検・メンテナンス

- ① 刃欠けがないか、各部に磨耗・損傷等がないか点検して下さい。
- ② 動く部分には時々注油をして下さい
※異常がある場合は使用しないで下さい。

□ 刃先の調整方法

刃先の隙間が大きくなり材料が切れ落ちない場合や刃を交換した場合は下記の手順に従い、刃先が適正な隙間となる様に調整して下さい。刃先の調整はハンドルの当り部が密着した位置で適正な隙間となる様、行います。

- ① 偏心ボルトを止めている六角ナットを外れない程度に緩め、偏心ボルトを12角穴部より抜く。
- ② 偏心ボルトを回して刃先端の隙間が僅かにある状態に調整する。
(ボルトの矢印方向に回すと刃が閉じます)
- ③ 偏心ボルトを止めている六角ナットを締める。



■ 替刃

刃は消耗品です。刃こぼれ・刃欠けが生じた場合、切れ味が低下した場合は刃を交換して下さい。

替刃品番

ZBCE600A

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>

160310